

2021年4月14日

会社名 エコモット株式会社
コード番号：3987 東証マザーズ、札証アンビシャス
住所 北海道札幌市中央区北1条東2丁目
5番2号
代表者名 代表取締役 入澤 拓也
問合せ先 取締役経営企画部長 花田 浩二
電話番号 011-558-6600

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下の通り、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 2021年4月14日 15:45～16:05
開催方法 インターネットを利用した動画配信
開催場所 自社ホームページ、ネットプレゼンテーションズ
説明会資料名 2021年8月期第2四半期決算説明資料

【添付資料】

2021年8月期 第2四半期 決算説明資料

以上



あなたの「見える」をみんなの安心に

エコモットはIoTを通じて
より安心な社会の実現に貢献します

撮影者 磯 真査彦氏
撮影地 北海道鶴居村

2021年8月期 第2四半期決算説明資料



© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

証券コード：3987



エコモット株式会社

2021年4月14日

事業概要

当社は創業以来、IoTインテグレーション事業を専業としています



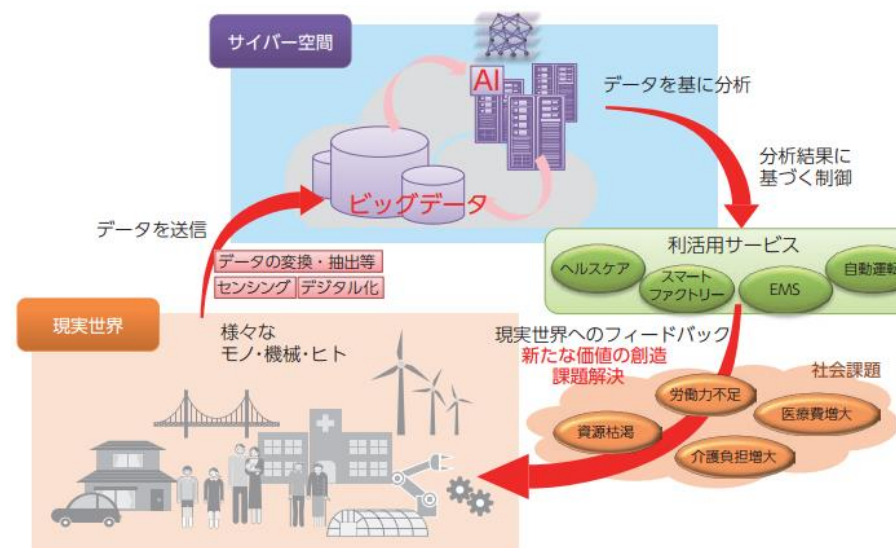
IoTとは

Internet of Thingsの略で「モノのインターネット化」と訳され「あらゆるモノ」をインターネットに接続、データ収集により「現状の見える化」を実現すること

IoTで収集したデータをクラウド上に蓄積（ビッグデータ化）し統計解析、人工知能（AI）等の分析手法を活用してデータを知識に変え、サイバー空間から現実世界にフィードバックすることで効率化、高速化、安心・安全を提供し課題解決

当社が提供してきたIoT

「データを収集・分析し、現実世界にフィードバックするサービス」を提供し続け、課題解決を実現

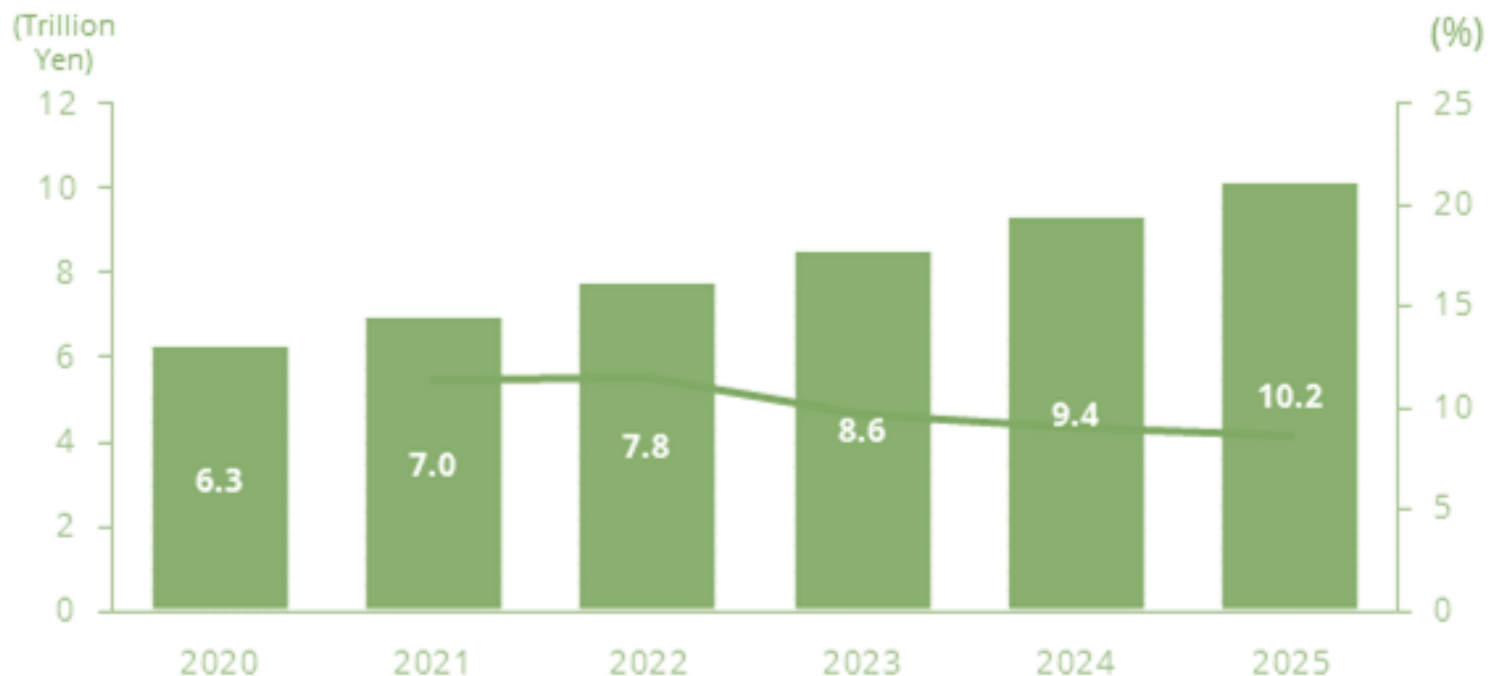


(出展) 総務省「平成28年版 情報通信白書」

IoT市場の成長力



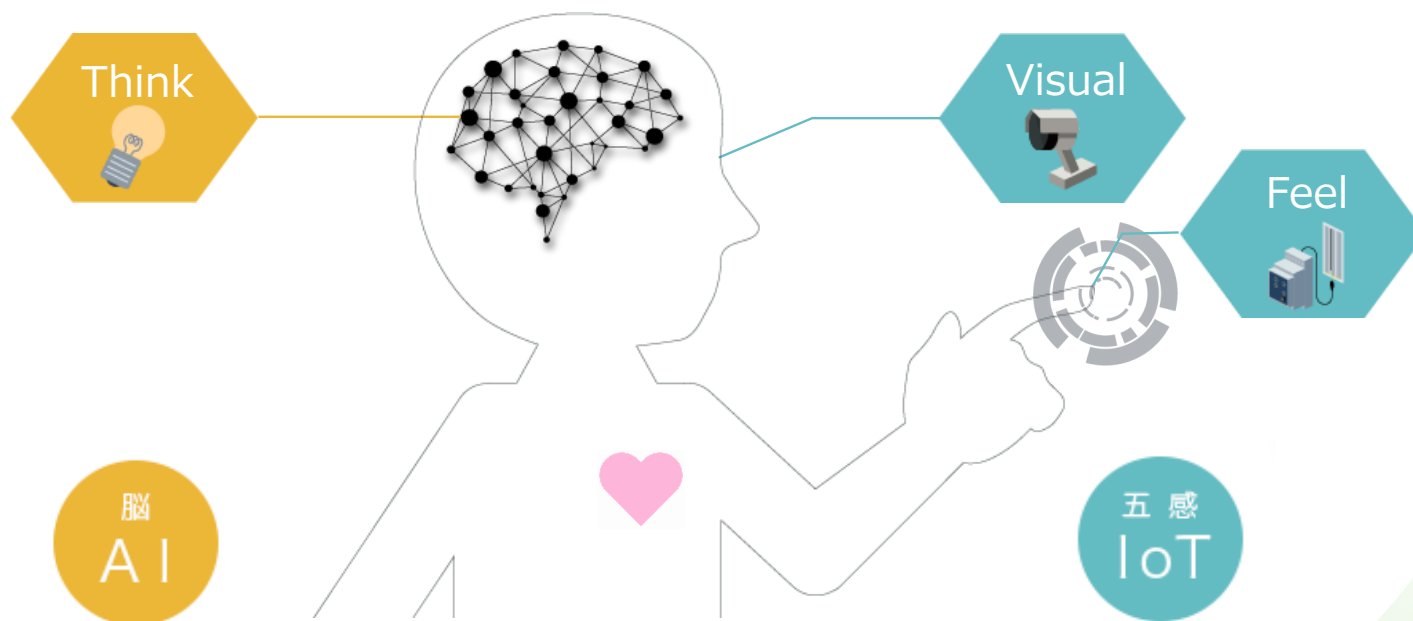
- 国内IoT市場におけるユーザー支出額について、2020年の実績（見込値）は **6兆3,125億円**
- 2020年～2025年の年間平均成長率（CAGR）は **10.1%**
- 2025年にこの同市場規模予測は、**10兆1,902億円**に（2020年比 **1.6倍**）



2021年4月7日 - IDC Japan 株式会社 国内IoT市場 産業分野別予測

未来の常識を創る

～IoT x AI を活用し、社会の課題を解決するリーディングカンパニーを目指す～



事業紹介

創業以来、一貫してIoTインテグレーション専業プロバイダーとしてソリューションを提供



提供スタイル・ソリューション分類		プラットフォーム・パッケージサービス
IoT インテグレーション事業	IoTプラットフォームをベースとしたSIによるソリューション 顧客ニーズに合わせて的確にIoT導入を支援	 IoTデータコレクト プラットフォーム FASTIO
	パッケージサービスを中心としたソリューション	モニタリング ソリューション 遠隔でのカメラ監視によるソリューションを提供  融雪システム遠隔監視 ソリューション ゆりもつと
		コンストラクション ソリューション 工事現場の「安全管理」「生産性向上」 「作業精度向上」等の 総合情報化ソリューションを提供  建設情報化施工支援 ソリューション 現場ロイド
		モビリティサービス GPS技術を活用したソリューションを提供  交通事故削減 ソリューション Pdrive

IoTプラットフォームをベースとしたSIによるソリューション



IoTデータコレクトプラットフォーム「FASTIO」により、センシングからデータの蓄積・分析フィードバックまでワンストップで提供することで、お客様のDXを支援

クラウド環境

データ蓄積 ～「クラウド」で集めたデータを蓄積。ダッシュボード閲覧～

アプリケーション

センサー 映像 位置情報



収集データの閲覧や設備の遠隔制御、位置情報の確認などのアプリケーション群

データ解析 ～集めたデータをAIで解析し、現実世界へフィードバック～



多種多様な学習済みAIを活用し、最適なAIを選定。また、自社のデータサイエンティストによるオリジナルのアルゴリズムも研究開発。

現実世界

データ収集 ～「センサー」でモノから情報を取得し、クラウド環境に送信。～

ゲートウェイデバイス

多様なニーズに対応する自社開発の産業用IoT通信デバイス



接続実績のある豊富なセンサーパートナープログラム「FASTIO LINK」



【企業抱えている様々な課題に対してDX支援】

- ・ 人手不足が深刻だ。
- ・ 生産性を上げるにはどうしたらよいか？
- ・ 新製品を開発したい。
- ・ 競合に差をつけられないようにするには？



課題

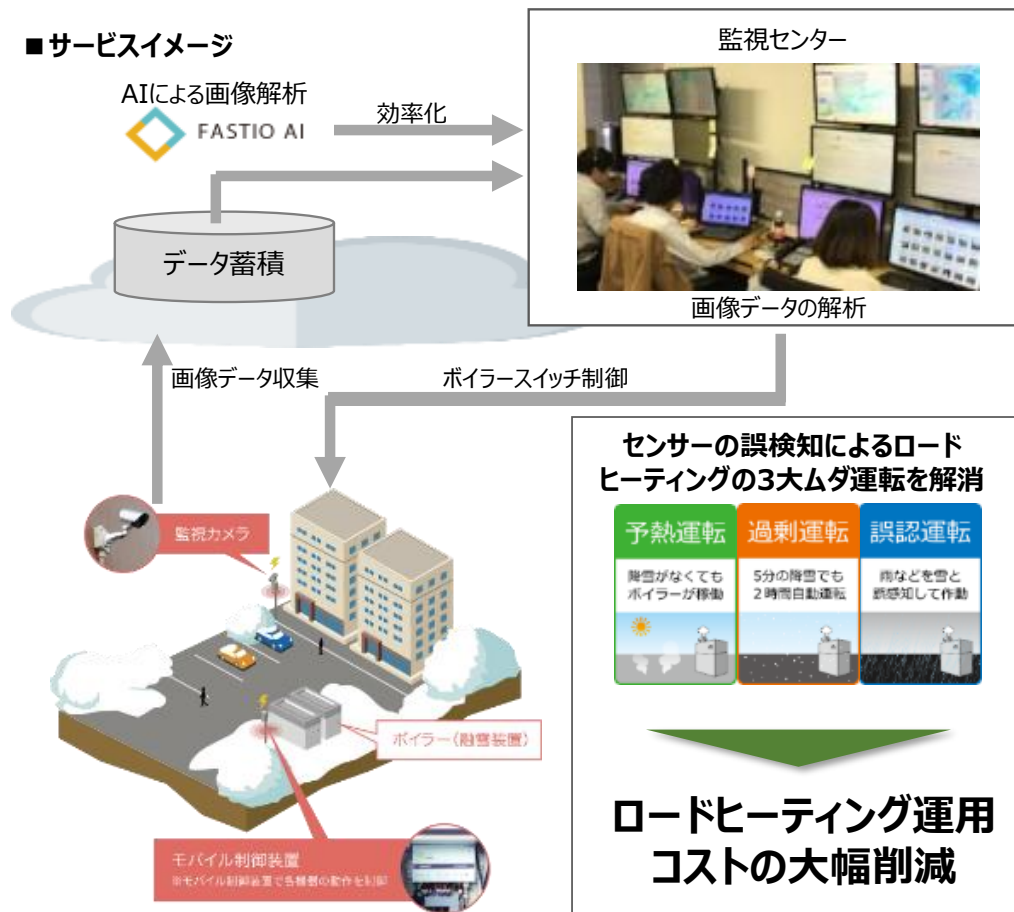
解決

「ゆりもっと」紹介（モニタリングソリューション）

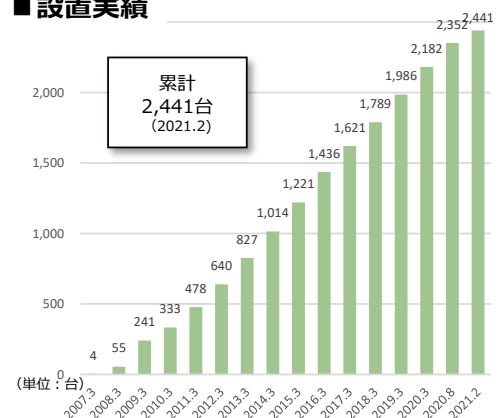
YR 創業事業として融雪システム遠隔制御代行サービス「ゆりもっと」を提供
 北海道・北東北を中心に2,000台以上設置し、冬期間の大幅な省エネルギーを実現



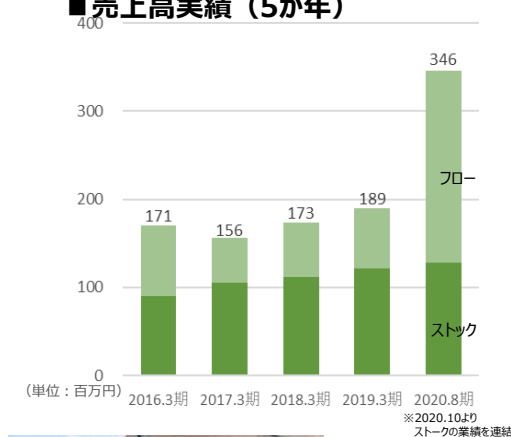
■ サービスイメージ



■ 設置実績



■ 売上高実績（5か年）



■ 導入事例

札幌市西区賃貸マンションへの導入

- 融雪面積：1,116㎡
- 設備状況：融雪ボイラー8台



**1シーズン平均効果額
 1,414,800円**

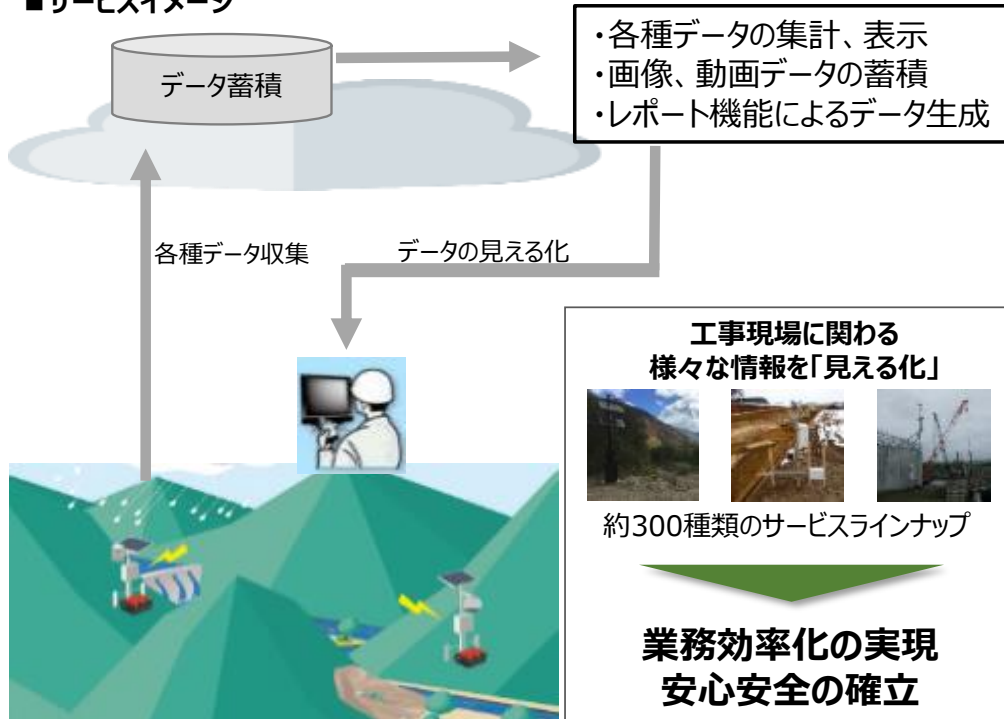
導入後8シーズンで
 平均56%の削減効果

「現場ロイド」紹介（コンストラクションソリューション）



建設情報化施工支援ソリューション「現場ロイド」を2009年以来、10,000件以上の工事現場に設置し、工事現場の安全性向上、業務効率化、品質向上に大きく貢献

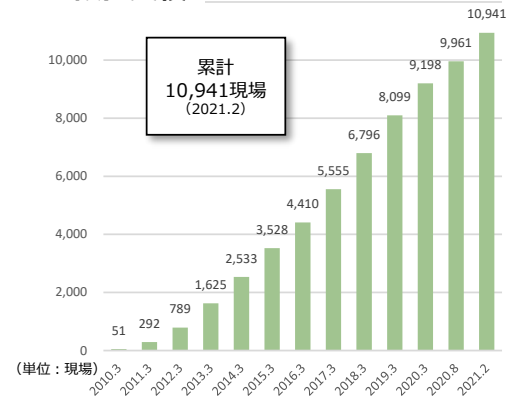
■ サービスイメージ



（参考）NETIS（新技術情報提供システム）について

NETISとは、民間の有用な新技術を積極活用するための国土交通省のデータベースであり、総合評価落札方式にて、NETIS登録技術を提案した場合、加点対象となる現場ロイドでは7技術がNETIS登録されており、多くの公共事業にて導入されている

■ 設置実績



■ サービス事例

・クラウドロガー（遠隔クラウド計測システム）

風速、雨量、水位など現場の様子を自動計測データはクラウド保存され、どこからでも確認可能。設定値に応じ警報装置と連動し安全対策を強化

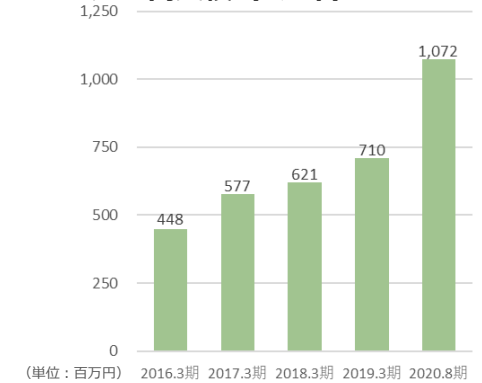


・おんどロイド（コンクリート養生温度管理システム）

厳寒期のコンクリート養生温度管理等に採用現場事務所は1キロ以上離れているが、リアルタイムにモニタリングすることができ、品質向上を実現



■ 売上高実績（5か年）



・ミルモット（遠隔監視カメラシステム）

スマートフォン等で遠隔地から現場状況を動画監視可能。赤外線照射機能により夜間撮影対応し、ソーラーバッテリーでの運用可能



・Tbox（ワイヤレス警報検知システム）

赤外線センサー、衝撃検知センサーなど、現地の警報システムをモバイルネットワークで遠隔地でも検知できるよう、防犯・安全対策を強化

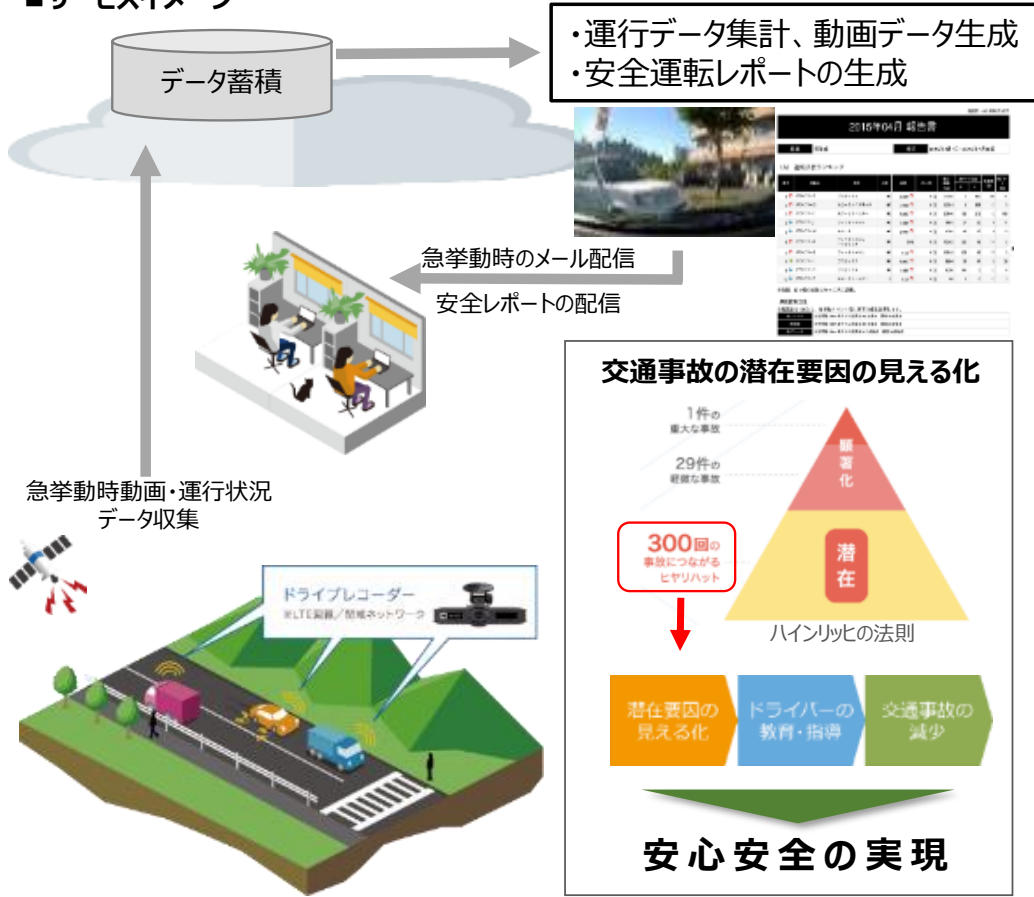


「Pdrive」紹介（モビリティサービス）

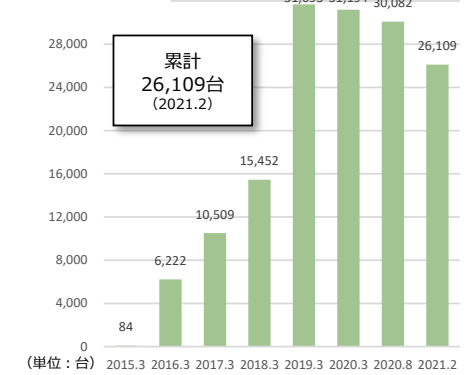


モバイル通信を搭載した高性能ドライブレコーダー「Pdrive」を26,000台提供導入により安全意識向上が事故の減少につながり、安心安全の実現へ貢献

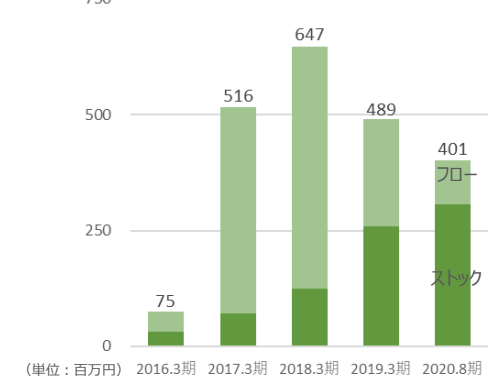
■ サービスイメージ



■ 設置実績

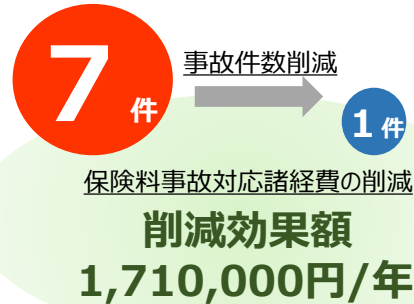


■ 売上高実績（5か年）



■ 導入事例

札幌市 卸売業へ導入
・導入台数：46台



月次ランキングによる評価

ドライバーID	月間走行距離 (km)	月間燃費 (L)	月間CO2排出量 (kg)
1	2312.2	109.46	2212.2
2	2212.2	109.46	2212.2
3	2112.2	109.46	2112.2
4	2012.2	109.46	2012.2
5	1912.2	109.46	1912.2
6	1812.2	109.46	1812.2
7	1712.2	109.46	1712.2
8	1612.2	109.46	1612.2
9	1512.2	109.46	1512.2
10	1412.2	109.46	1412.2
11	1312.2	109.46	1312.2
12	1212.2	109.46	1212.2
13	1112.2	109.46	1112.2
14	1012.2	109.46	1012.2
15	912.2	109.46	912.2
16	812.2	109.46	812.2
17	712.2	109.46	712.2
18	612.2	109.46	612.2
19	512.2	109.46	512.2
20	412.2	109.46	412.2

エコモットの強み

14年間顧客と向き合い、これまでに13,000件以上の案件に携わった実績が強みとなっている



センシング技術

センサーの豊富な接続実績

パートナープログラムを通じ、多数の接続実績のあるセンサーを用意し、多様なニーズに対応可能



自社開発の通信デバイス

IoT専業だからこそその多様な顧客ニーズに対応した、多種多様な自社開発の通信デバイスを提供



システム構築力

アプリ・クラウド側のエンジニアと、ハード・ファームウェアを同時に構築できる強み

クラウド



PHP/JAVA
Javascript

ファームウェアアップデート、セキュリティ、カスタマイズ、死活監視、電力監視、パケット量監視など

製品



C, Python
組み込みソフト開発、
回路設計等

MCPC認定資格保有者

IoTプロフェッショナル 1名
IoTエキスパート 18名
IoTアドバイザー 13名

(2021年1月現在)

サービス運用力

豊富な実績が証明するサービス運用体制により「当たり前に見えるIoTサービス」を提供



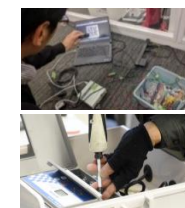
融雪システム監視
(冬期間24時間)



カスタマーサポート



システム
24時間保守



自社エンジニアによる
カスタマイズ



フィールドでの
設置ノウハウ



キットिंग
出荷作業

アジェンダ

1. 第2四半期決算概要

2. 事業運営の進捗状況

3. Appendix

2021年8月期第2四半期 決算トピックス



コンストラクションソリューションでは当期計画が達成となったが、他のソリューションでは未達となり、売上高は対計画で2.2%のマイナス
昨年同時期に突発した大口案件が今期はなく、前年同時期比で10.8ptのマイナス
連結売上高計画は未達 (対計画△2.2%)

一方、人員強化や新サービスの浸透によりベースとなる定常的案件は堅調に推移
営業利益計画を達成 (対計画+23.1%)

■ 変則決算の影響について

2020年8月期は、決算期変更により2019年4月1日から2020年8月31日までの17ヶ月間であったことから、2021年8月期と前年同四半期ではなく前年同月数値と比較分析をしております。
前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりませんので、決算説明のための参考値であることをご了承ください。

業績ハイライト

売上高が1,075百万円（対前期△10.8%）。当第2四半期は大口案件が少なかったこと、それに加え、戦略的人員体制強化により販管費率も高まったことから、営業利益は43百万円（対前年△73.3%）で着地



(単位：百万円)

	2019年9月～ 2020年2月	2021年 8月期 2Q	前年同期間比 (%)	当初計画	対計画比 (%)
売上高	1,206	1,075	△130 (△10.8%)	1,098	△22 (△2.1%)
売上総利益	537	480	△56 (△10.8%)	479	+1 (+0.3%)
売上総利益率	44.5%	44.7%	+0.2pt	43.7%	+1.0pt
営業利益	165	43	△121 (△73.4%)	35	+8 (+23.1%)
営業利益率	13.7	4.1%	△9.6pt	3.3%	+0.8pt
純利益	122	22	△99 (△81.7%)	23	△0 (△3.2%)
純利益率	10.1	2.1%	△8.1pt	2.1%	0.0pt

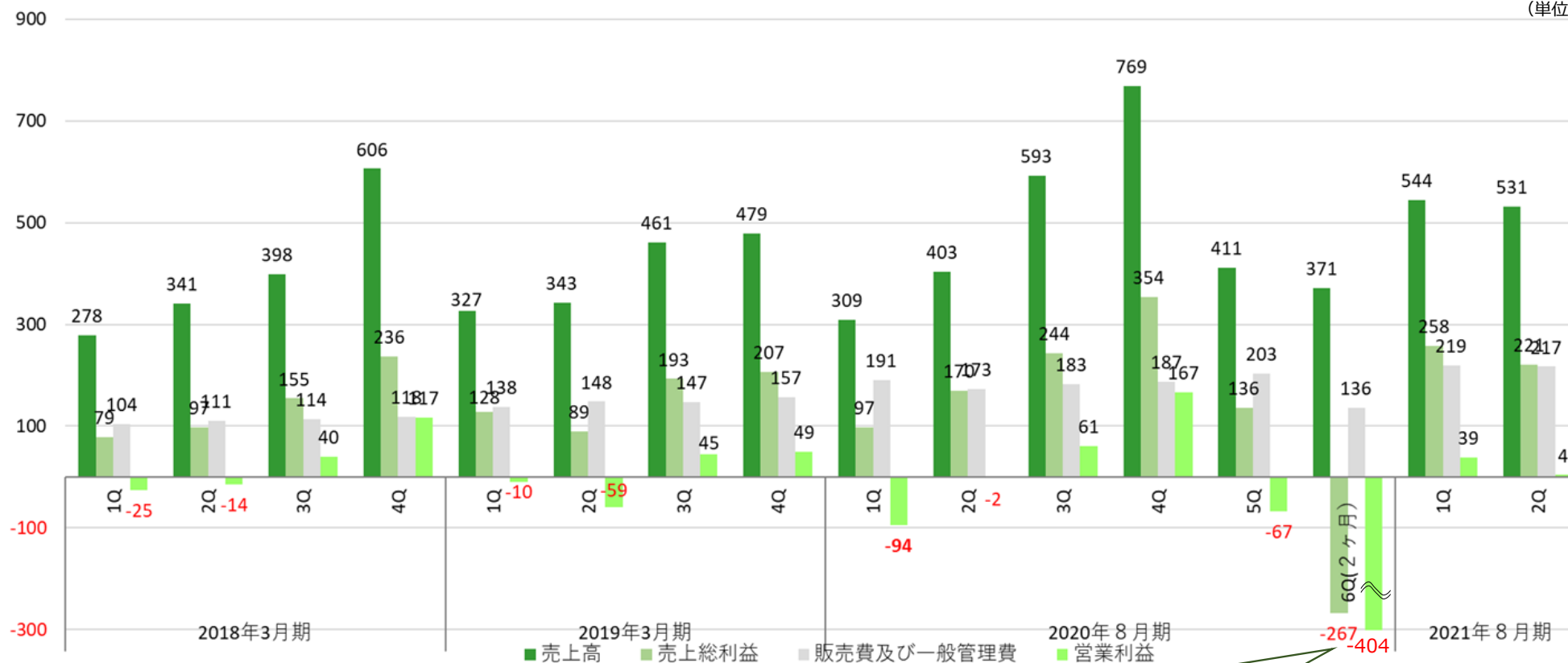
※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

四半期業績推移



(単位：百万円)



棚卸資産評価損
412百万円を含む

※2020年8月期3Qより子会社の損益計算書を連結しており、2020年8月期2Q以前は単体の数値
 ※2020年8月期6Qは変則決算のため2ヶ月間の数値
 © Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

ソリューション別売上高の増減要因



インテグレーションソリューション・モビリティサービスが前年同時期比横ばい、コンストラクションソリューション・モニタリングソリューションが減少に転じ1,075百万円で着地（対前期△130百万円）

(単位：百万円)

	2019年9月 ～ 2020年2月	2021年 8月期 2Q	前年同期比 (%)	当初計画	当初計画比 (%)	ソリューションの概況
インテグレーション ソリューション	90	98	+7 (+8.2%)	105	△6 (△6.5%)	・ほぼ計画通りの推移 ・AITELLやフリーザー対応UPSの引き合いが増加中
コンストラクション ソリューション	645	582	△63 (△9.8%)	559	+22 (+4.1%)	・対計画で22百万円のプラスとなったものの、前年同期間中に大口案件が複数突発したが今期はなく、前年同期比較ではマイナス ・人員強化の奏功や遠隔臨場関連サービスの伸長等によりベース案件は堅調に推移
モニタリング ソリューション	264	187	△77 (△29.3%)	217	△30 (△14.1%)	・昨年9月に増税前の3G端末リプレイス大量受注となったため、前年同期比較でマイナス ・LTE端末へのリプレイス案件を下期へ回したことに加え、ストックの大型案件が納期遅延となり下期へずれ込んだことが大きく影響し、対計画で未達
モビリティサービス	204	206	+2 (+1.1%)	215	△8 (△3.8%)	・3Gサービス終了を見据えた解約増加によるストック売上の減少を、新規販売分でカバーしきれず対計画で△8百万円 ・WEBマーケティング強化により下期から売上拡大を見込む
計	1,206	1,075	△130 (△10.8%)	1,098	△22 (△2.1%)	

※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません

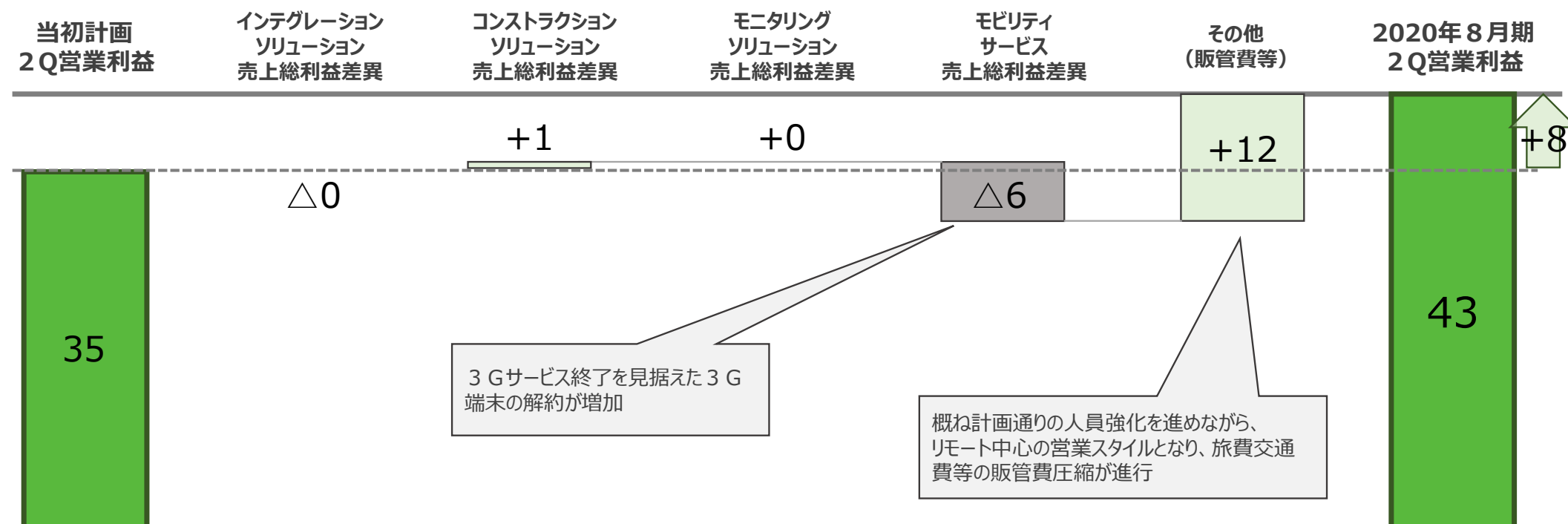
© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

営業利益増減分析（対業績予想）



(単位：百万円)

モビリティサービスは計画未達、その他ソリューションはほぼ計画通りの売上総利益を獲得
リモート中心の営業スタイルとなり、旅費交通費等を中心として販管費の圧縮が進行し、
営業利益は対計画+8百万円で着地



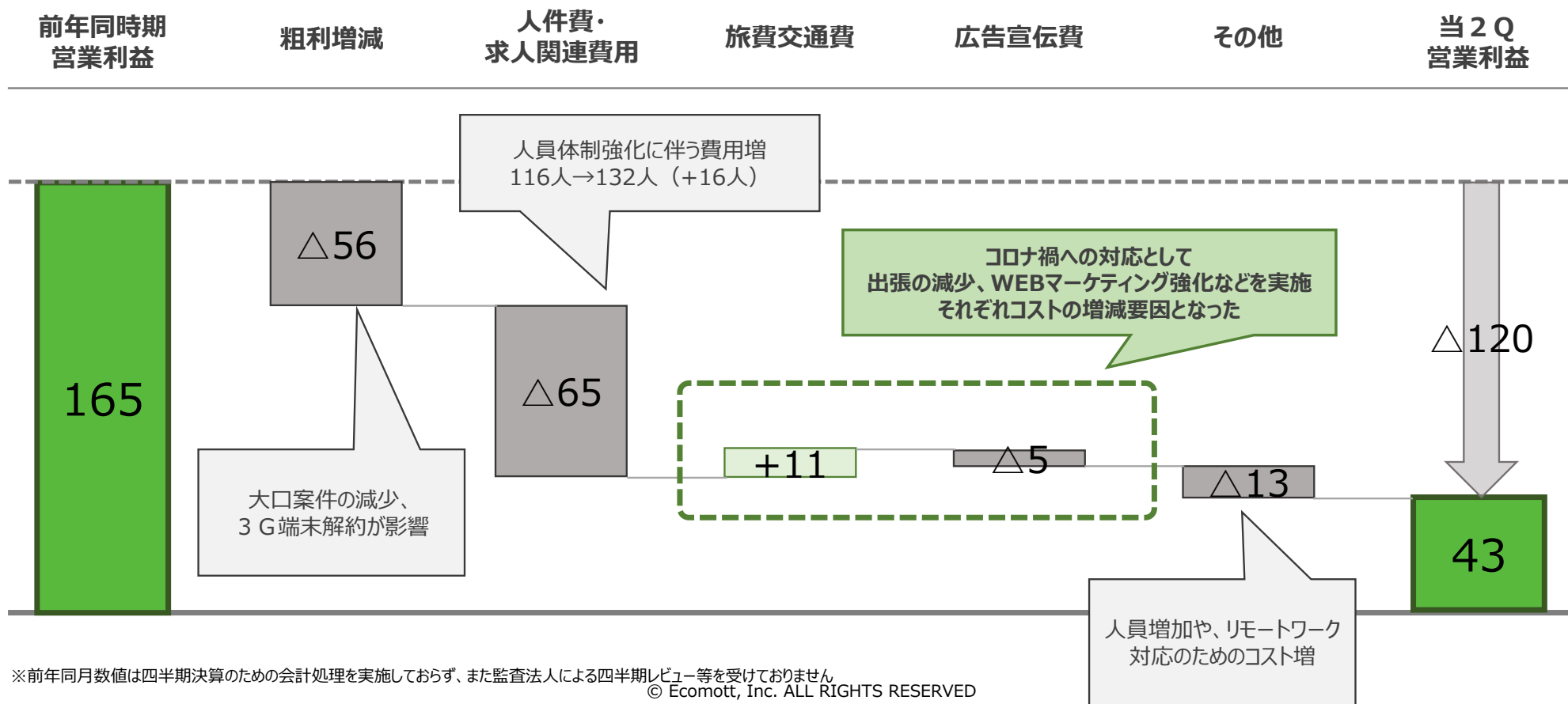
※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません
© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

営業利益の増減要因



(単位：百万円)

大口案件の減少、3 G 端末解約等が影響し売上総利益が減少（△47百万円）
 加えて、主に人員体制強化に伴う費用増の影響により
 営業利益は43百万円で着地（対前年同時期比△120百万円）



※前年同月数値は四半期決算のための会計処理を実施しておらず、また監査法人による四半期レビュー等を受けておりません
 © Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

貸借対照表



当第2四半期は大型の投資を実施しておらず、ほぼ計画通りとなった事業状況を背景に、現金および預金、電子記録債権が増加し、有利子負債の返済が進行

(単位：百万円)

	2020年8月期 (2020年8月31日)	2021年8月期 2Q (2021年2月28日)	増減
流動資産	1,596	1,692	+96
(現金及び預金)	611	701	+90
固定資産	363	354	△8
総資産	1,960	2,047	+87
有利子負債	613	575	△38
自己資本	1,053	1,083	+30
自己資本比率 (%)	53.7%	52.9%	△0.8pt

キャッシュフロー計算書



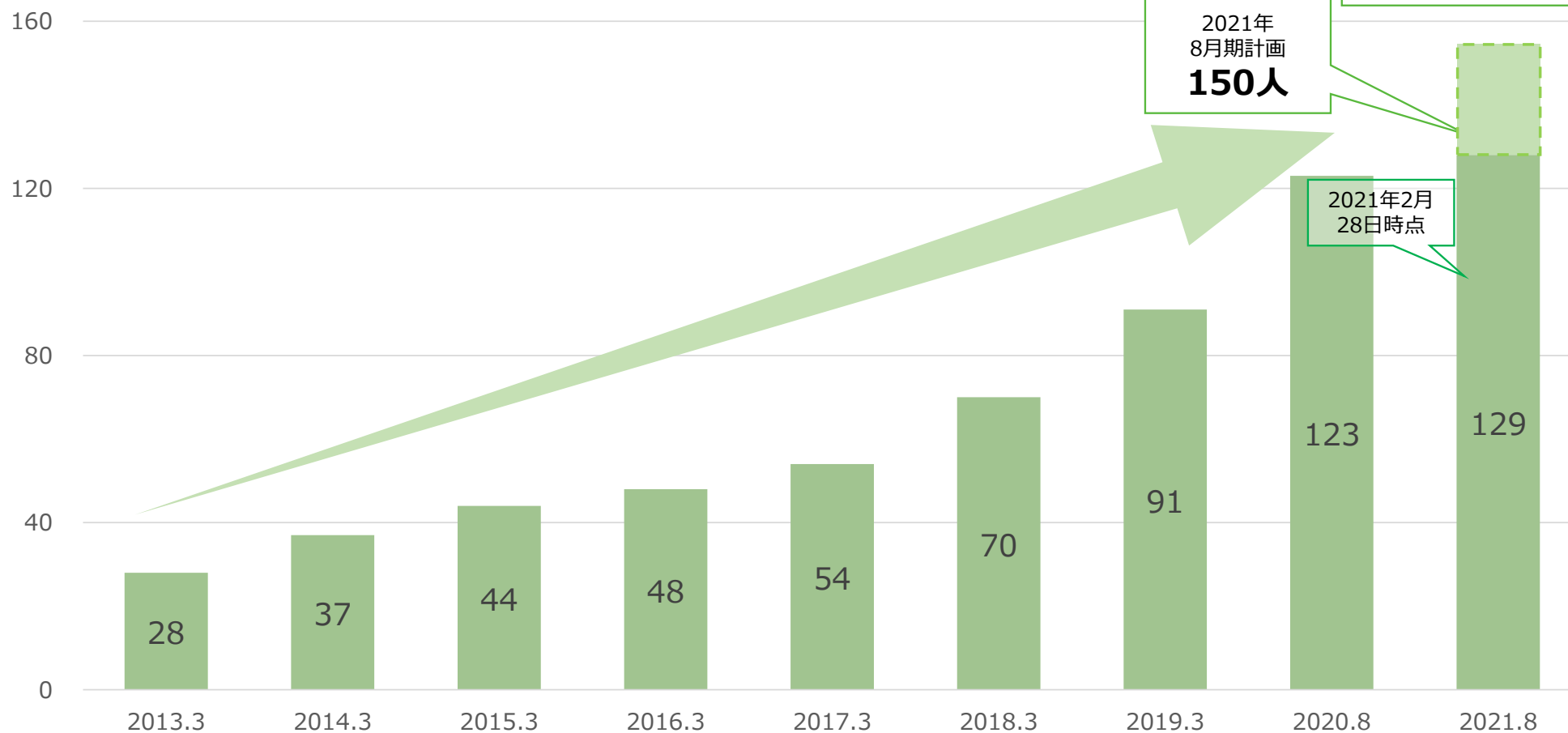
税金等調整前四半期純利益の計上等により、現金および現金同等物の増加額は90百万円となった

(単位：百万円)

	2020年8月期 2 Q (2019年9月30日)	2021年8月期 2 Q (2021年 2月28日)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	△433	154	587
うち、たな卸資産の増加額	△381	9	390
投資活動による キャッシュ・フロー	16	15	△1
財務活動による キャッシュ・フロー	△43	△79	△35
現金及び現金同等物の 増減額	△460	90	550

従業員数経年推移

単位：人
(役員、臨時雇用者数含まず)



2021年
8月期計画
150人

2021年2月
28日時点

アジェンダ

1. 第2四半期決算概要

2. 事業運営の進捗状況

3. Appendix

事業運営の進捗状況、トピックス（サマリー）



2021年1月の中期経営ビジョンで掲げたプランは、それぞれ順調に進捗しており、事業計画達成に向けて3Q以降も継続して推進を強化

中期経営ビジョン

監視サービス事業の確立と
半自動オペレーション構築

安全性に優れたIoT
蓄電池を新市場へ展開

新型コロナウイルス対策を
背景に新事業を促進

KDDI社との資本業務提携
におけるシナジーについて

コンストラクションソリューション
における機会増大

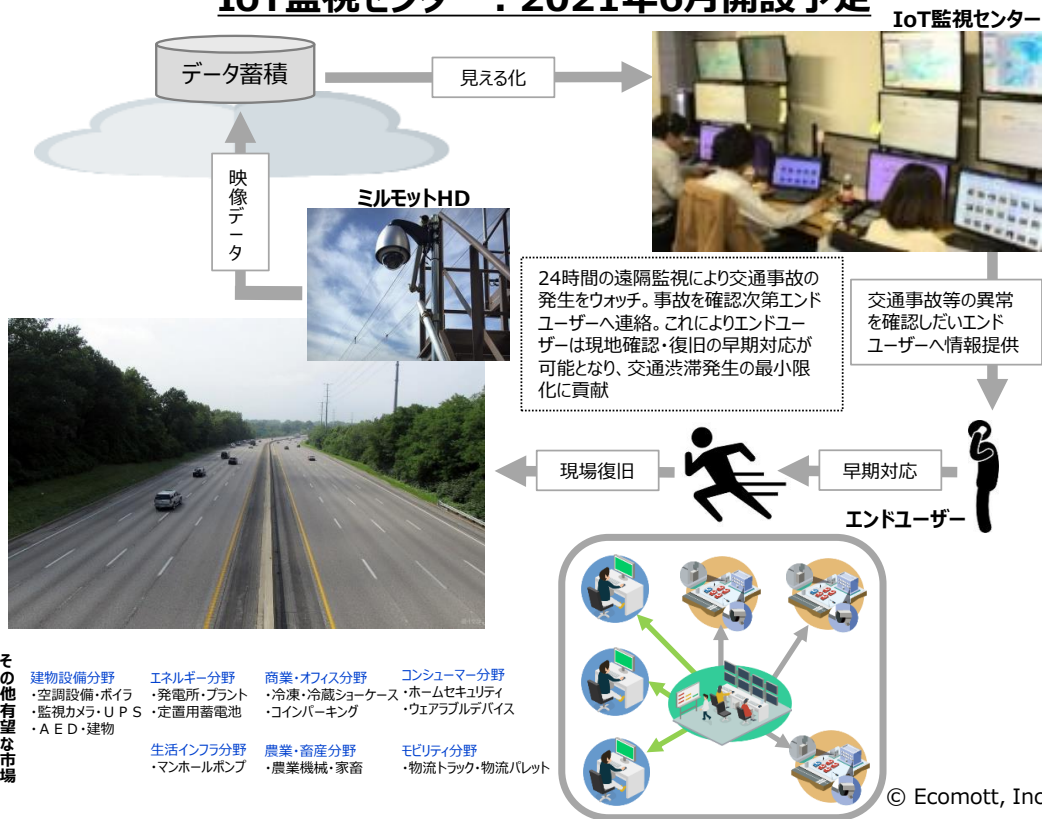
- **アライアンス先との連携により24時間365日対応のIoT監視センターが6月に開設予定**
 - ◇ **現場ロイドでのアップセル**
 - ・ミルモット等の既存顧客に対して有人監視サービスを提供。IoT監視センター開設準備の最終段階へ突入
 - ◇ **現行サービスの付加価値としての有人監視をOEM提案**
 - ・カメラメーカーや販売店に対し、有人監視サービスのみをOEMで提供できるスキームを構築中
- **新型独立電源の出荷開始。フリーザー対応UPSの開発も完了**
 - ・これまでの独立電源提供実績と監視ノウハウを生かし、より広いマーケットへ電源装置を展開
- **AI×IoTのソリューション企画力と開発力で社会に貢献**
 - ・全国の代理店から引き合いと設置実績が増加中
- **産業用ボイラのトップメーカーへクラウド型エネルギー管理システムを提供**
 - ・メンテナンスサービス付加価値としてのクラウド型エネルギー管理システム導入を支援
 - ・製品・サービスの開発と、販売チャネル開発等による既存ソリューションの市場シェア拡大に向けて連携を継続中
- **測量系IoTサービスとGRIポートが好調**
 - ◇ **DANA CLOUD および3D地中変位計測システムの導入実績が急増**
 - ・地表変位の高精度なクラウド型自動計測が求められる現場で当社の測量系IoTが採用されるケースが増え、出荷好調
 - ◇ **GRIポート上方修正後の計画進捗率が4割超となる**
 - ・全国でウェアラブルカメラニーズが高まり、当社GRIポートは品質と価格で高評価を得て、導入現場が増加している

事業運営の進捗状況

監視事業の確立と半自動オペレーション構築

IoT監視センターは、6月からの稼働開始に向け最終調整段階に突入。現場ロイド導入顧客へのアップセル提案と、それに並行しカメラメーカーやカメラ販売店に対する有人監視OEM提案、BtoC領域も視野に入れたニーズ調査を継続的にを行い、市場シェアの獲得を図る。

IoT監視センター：2021年6月開設予定



© Ecomott, Inc. ALL RIGHTS RESERVED



安全性に優れたIoT蓄電池を新市場へ展開

建設現場で延べ1,000件の実績を誇る独立電源に安全性と耐環境性能に優れた日本製リチウムイオン電池採用モデルを新ラインナップとして出荷開始。さらに、新型コロナウイルスの保管用フリーザーに対応した無停電電源装置も提供開始。3Q以降の売上貢献を見込む。

新型独立電源システム：2Qから現場導入を開始



新型独立電源システム

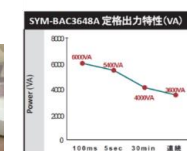


日本製リチウムイオン電池

- ・高い安全性
- ・急速充電性能
- ・-30度の環境でも稼働する低温性能



フリーザー対応型無停電電源装置 (UPS)



出力電流を50Aとし保管用フリーザーの突入電流に対応



クラウドを使用した監視機能や温度センサーをオプション搭載することで、遠隔でUPSの電池残量やフリーザー内部の温度を確認することが可能に

事業運営の進捗状況



新型コロナウイルス対策を背景に新事業を促進

市場に先駆け、2020年2月より新型コロナウイルス対策ソリューションをリリース。当面続くとみられるコロナ禍において、当社の強みであるAI x IoTのソリューション企画力・開発力を生かし、社会に貢献するソリューションを全国で展開している。

アイテル：全国からの引き合いと設置実績が増加



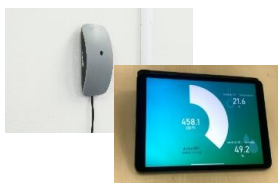
混雑状況の見える化「アイテル」



新型コロナウイルス対策の一つとして導入が加速。現在地からの距離により、空いているお店を探す機能も搭載



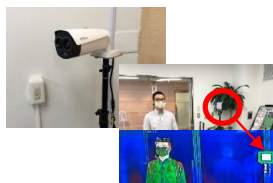
表面温度の見える化「サーモロイドPro」のほか、二酸化炭素の見える化「アイテル Fresh Air」や乾燥状態の見える化「アイテル Moist Air」を複合的に利用することで、更なる機会創出に貢献



CO2値から換気状況の見える化「アイテル Fresh Air」



ウィルス飛散を抑える乾燥状態の見える化「アイテル Moist Air」



体の表面温度スクリーニング「サーモロイドPro」

KDDI社との資本業務提携におけるシナジー

KDDIとのIoT分野における連携により、IoTパッケージ製品の共同開発、KDDI ICSのカスタマイズ、大規模IoTインテグレーション事業の共同受注を実現している。

KDDI連携：IoTインテグレーションの共同開発、共同受注

専用デバイスの開発→ファームウェア→アプリケーションまでを一気通貫。KDDIの通信技術とクラウド構築基盤にエコモットのIoT技術を組み合わせ、大規模IoT案件を共同で受注 事例紹介:<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3987/tdnet/1922041/00.pdf>

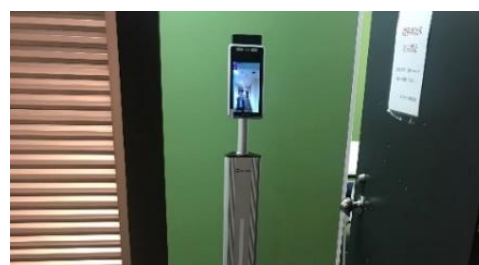
KDDI IoTクラウド Standard



KDDI IoTクラウドStandard さまざまなパッケージ

新しいIoTパッケージ共同開発製品は期中リリースに向け調整段階に突入

3Q、4Qリリースに向けて調整中



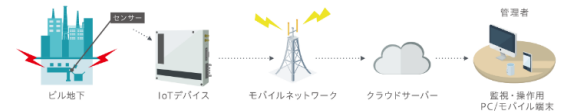
KDDI IoTクラウドStandard サーマルカメラパッケージ

人物の体表面温度を約0.3秒で計測。マスク着用の有無を判断し、未着用の場合に着用を音声で促す機能も搭載



KDDI IoTクラウドStandardのカスタマイズ

工場で稼働する機械設備の劣化状態診断やメンテナンスアクションの管理に活用できる予兆保全IoTについても共同営業を継続中



事業運営の進捗状況



コンストラクションソリューションにおける機会増大

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策において、激甚化する災害への対策、予防保全に向けた老朽化対策、デジタル化の推進にかかる対策の三つが掲げられた。インフラの老朽化が進行する状況下でIoTソリューションはさらに注目を浴びており、当社では、測量系IoTの提案強化やBIM/CIMの原則適用に向けたサービス提供を開始。また遠隔臨場の性能向上も図り、競合優位性の高いIoTソリューションの提供を行っている。

測量系IoT：計画を大きく上回る設置実績となり、3Q以降も増加見込

GNSS衛星、中継機、回線集約器、GNSS変位計測センサー

データを集約してモバイルネットワークで送信 → クラウドサーバーへリアルタイムで収集 → PC・スマートフォンでデータの取得と解析、表示

※単管は製品に含まれておりません

DANA Cloud 沈下計測

GNSSスタティック測位法により3次元で高精度な計測を実現。地すべりや火山活動の監視などの防災用途、鉱山の残壁などの地盤変位の監視や、堤防・護岸、ダム堤体、送電線鉄塔、橋梁、構造物、のり面、鉄道路盤等の変位監視や管理など、様々な場所での施工管理段階から維持管理まで幅広く対応が可能



火山活動による山体膨張・収縮などを監視

道路の維持管理

鉄塔や周辺地盤の変動監視



3D地中変位計測

地すべり、護岸、橋梁、トンネル、鉄道、液状化対策、ダムなど様々なシーンで、高精度遠隔モニタリングが可能。2D・3Dグラフを表示可能。クラウド上に警戒値を最大2つまで設定することができる他、取得データのCSV形式ダウンロードも可能

GRレポート：上方修正後の計画進捗率は4割超

福井コンピュータの「CIMPHONY Plus」では、ウェブブラウザのみでBIM/CIMモデルを可視化するとともに、点群データの共有や位置情報を伴う写真の管理など、各種データの一元管理が可能。Ecomottの「GRレポート」は、滑らかかつ高画質・低遅延なリアルタイム映像をクラウド上に録画、ウェブブラウザ上で閲覧可能にするサービスで、建設現場とリモート環境との双方向通話も可能としている。これら両社のシステムの長所を活かし、「CIMPHONY Plus」に対して、「GRレポート」のリアルタイム高画質映像・双方向通話機能を提供することで、クラウドとウェブブラウザで完結したBIM/CIMおよび遠隔臨場を同時に提供することを可能とした

CIMPHONY Plus × GRレポート



アジェンダ

1. 第2四半期決算概要

2. 事業運営の進捗状況

3. Appendix

会社概要



社名	エコモット株式会社
代表者	代表取締役 入澤 拓也
設立	2007年2月（決算期：8月）
資本金	6億1,487万（2021年2月末現在）
本社所在地	北海道札幌市中央区北1条東2丁目5-2 札幌泉第一ビル1F
営業所	札幌・東京・青森・仙台・北信越 東海・関西・中四国・九州
従業員	129名（2021年2月現在）
事業概要	IoTインテグレーション事業

2017年6月21日 札幌証券取引所アンビシャス上場
2018年6月22日 東京証券取引所マザーズ上場
2019年1月15日 KDDI株式会社と資本業務提携

あなたの「見える」をみんなの安心に。



本資料の取り扱いについて

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

エコモット株式会社 経営企画部
TEL : 011-558-6600 Mail : ir@ecomott.co.jp
URL : <https://www.ecomott.co.jp/>